IMR-100型

平板型ミニ転写装置

セミドライタイプ

取扱説明書

構成

1. 上部電極版【上部槽】------------------------------1 台
2. 下部電極板【下部槽】------------------------------1 台
3. リード線+−　------------------------------------1 組

ブロッティングの準備

1. ＰＶＤＦ膜(Imobiron-Ｐ)/MILLIPORE 社　IPVH00010 などをゲルの大きさにカットしておく。

2. Filter paper (Watman NO.3 Cat.no.1003 917 など)をゲルの大きさに合わせてカットしておく。上下 2 枚ずつ使用。

3. ブロッティング溶液の作製。

Tris hydroxymethyl aminomethane--------------------	3.0g
Glychine--	14.4g
SDS--	1.0g
Methanol---	100ml
ＤＷ	**Total　1000ml**

4. 容器　15cm×20cm×8cm 程度の大きさのもの-------*3 個

*容器は、染色、脱色用にも使用するので多めに用意しておく。

作業手順

1. 電気泳動終了後のゲルを 1 分間程度軽く水洗いし、200ml のブロッティング溶液で 5 分間振とう。
2. ＰＶＤＦ膜を少量の Methanol に浸し、100ml のブロッティング溶液で 5 分間振とう。
3. Filter paper を 4 枚、ブロッティング溶液に浸す。
4. Bottom Electrode (Hard Carbon)の上に Filter paper を 2 枚置き、気泡が入らないように、ゲル、ＰＶＤＦ膜の順で乗せ、さらに Filter paper を 2 枚重ねる。Hard Carbon の上にある余分な溶液は、拭き取る。
5. Upper Electrode (Hard Carbon)の黒側のリード線のみ差し込んで、Bottom Electrode (Hard Carbon)の上に合わせる。
6. 電源装置のメインスイッチが、OFF になっていることを確認後、リード線を差し込む。

7.　定電流 80mＡで 90 分間、通電する。
8.　終了後は、電源装置のスイッチをＯＦＦにしてから、リード線を取り外す。

注意事項

1.　ＰＶＤＦ膜は、必ず少量の Methanol に浸して疎水性から親水性に戻してからご使用下さい。
2.　電極板の周囲の余分な溶液は、拭き取ってからご使用下さい。過剰な溶液は、パターンが乱れる原因になります。
3.　作業の際は、必ず、ゴム製の手袋をして作業してください。

本装置のメンテナンス

1.　実験終了後は、電極部分をメタノールで拭き取ってください。
2.　電極板の汚れが目立つようになりましたら、スコッチブライトなどのスポンジを使用し汚れをこすり落としてから、純水で流し,自然乾燥して下さい。
3.　本装置の主要材質は、アクリル製ですので温風乾燥機などの御使用は出来ませんのでご注意下さい。

以上　ご不明な点がございましたらご遠慮なくお問い合せください。

人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

〒135-0016　東京都江東区東陽 2-2-20 東陽駅前ビル
URL : http://www.cosmobio.co.jp/
● 営業部（お問い合わせ）
TEL：（03）5632-9610　FAX：（03）5632-9619
TEL：（03）5632-9620